

# 情報連絡員報告総括表(令和2年12月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名(100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況							
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製 造 業	食料品		2	2	2	2		1	3			3	1		1	3		2	2		2	2		4			1	3				
	繊維工業			3	1	1	1		3			2	1			3		1	2		1	2		1	2			3				
	木材・木製品			1			1		1				1			1		1			1		1					1				
	紙・紙加工品			2		2			1	1		1	1		1	1	1	1			2		2			1		1				
	印刷			1		1			1				1			1			1		1		1					1				
	化学・ゴム																															
	窯業・土石製品		1	2	1	2			3			2	1		2	1		3			3		3			1		2				
	鉄鋼・金属		1			1			1			1				1			1		1		1					1				
	一般機器	1	1	1	1	2			3			2	1	1		2		3		1	2		2	1		1		2				
	電気機器			1			1			1					1				1			1		1				1				
	輸送機器	1					1		1			1				1			1	1			1			1						
その他																																
小計	2	5	13	5	11	4	1	17	2		13	7	1	4	15	1	11	8	2	9	9	1	16	3	1	4	15					
非 製 造 業	卸売業		2			2		2			2			1	1		2		X				2				2					
	小売業	1	3	2	1	4	1	2	4		5	1		3	3		4	2							6			4	2			
	商店街			1			1		1			1			1			1							1				1			
	サービス業		4	1	X			1	4			5			5			4				1				5			4	1		
	建設業	1	3						4		1	3		1	3			4						4				4		1	3	
	運輸業		1							1		1		1			1						1					1			1	
	その他			1								1		1				1						1					1			1
小計	2	13	5	1	6	2	3	16	1	1	17	2	1	13	6		16	4				20		1	12	7						
合計	4	18	18	6	17	6	4	33	3	1	30	9	2	17	21	1	27	12	2	9	9	1	36	3	2	16	22					

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(令和元年12月～令和2年12月)

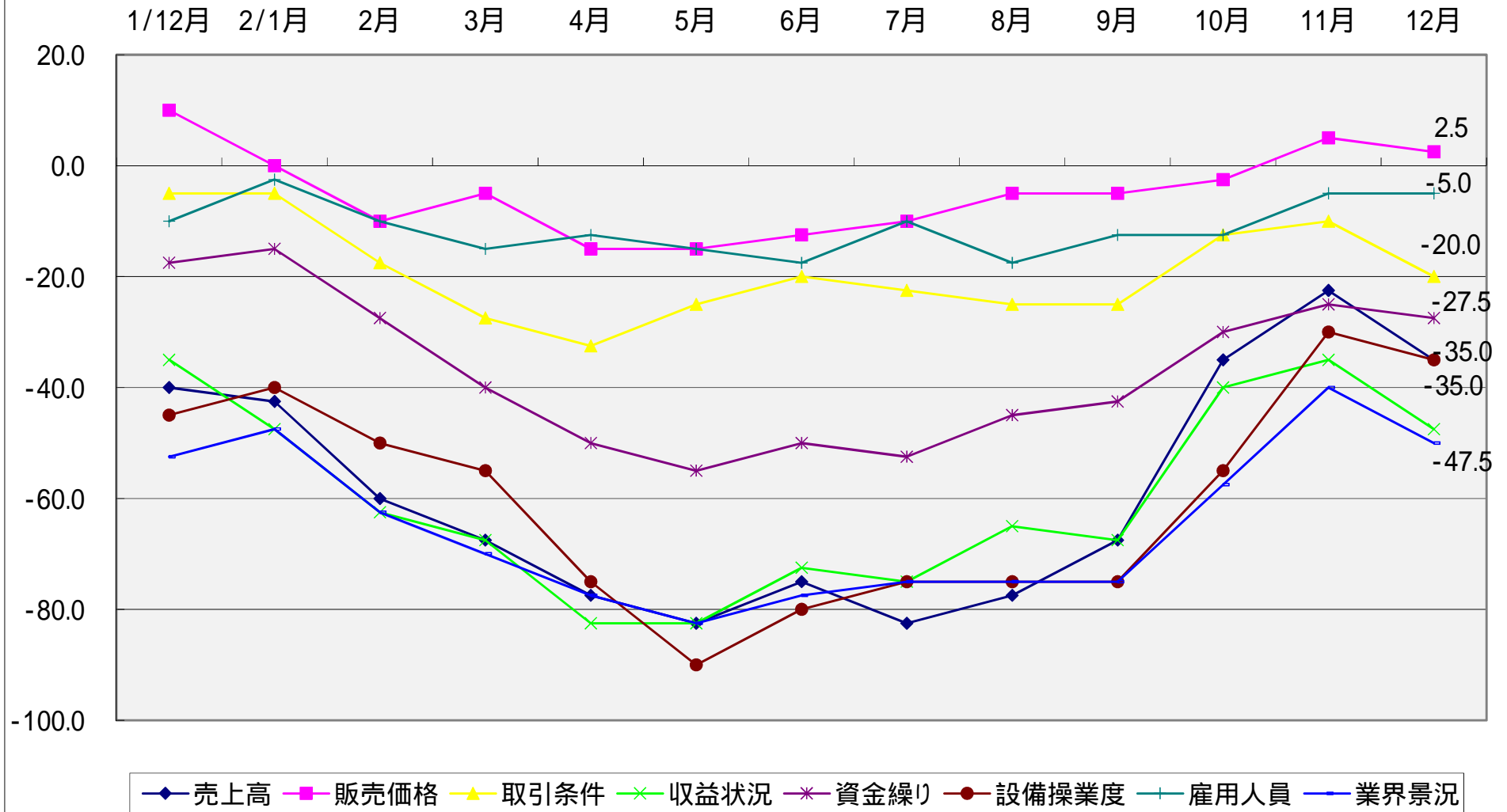
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	1/12月	2/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	増減
売上高	-40.0	-42.5	-60.0	-67.5	-77.5	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-12.5
販売価格	10.0	0.0	-10.0	-5.0	-15.0	-15.0	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-2.5
取引条件	-5.0	-5.0	-17.5	-27.5	-32.5	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-10.0
収益状況	-35.0	-47.5	-62.5	-67.5	-82.5	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-12.5
資金繰り	-17.5	-15.0	-27.5	-40.0	-50.0	-55.0	-50.0	-52.5	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-2.5
設備操業度	-45.0	-40.0	-50.0	-55.0	-75.0	-90.0	-80.0	-75.0	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-5.0
雇用人員	-10.0	-2.5	-10.0	-15.0	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	0.0
業界景況	-52.5	-47.5	-62.5	-70.0	-77.5	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	秋の長雨の影響により初期生育が悪く生育の遅延が見られたが、その後は天候に恵まれ生育の回復が見られた。野菜全般が豊作のため漬物原料野菜は順調な入荷となっている。しかし生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足は続いている。そのため伝統的な漬物においても原料不足のため、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また販売状況においても、コロナウイルスに関わる外出自粛の影響により、道の駅、土産物店等での土産物の漬物の販売及び外食産業での需要が大きく減少している。
	醤油味噌	コロナ禍が毎日のように最多更新でますますひどくなり、年末年始の挨拶もお互いに自粛する状況である。当業界も前年対比で全国の醤油出荷量は1年累計で94%で約70万kl、味噌は生産95%、出荷は97%で約40万tである。早期回復を願う。
	豆腐	コロナによる自粛ムードの中、外食産業への食材としての豆腐油揚げの納品は、昨年比で大幅に減少している。
	製麺	12月5日、6日と年明けうどん大会に香川県高松市に参加した。今年はコロナ禍の中で、開催が決まり、人数制限をしながら通常の10分の1で行った。ビデオ等を流しながらPR活動でお客様に知ってもらった。今回は2回目に知事が来場され、ご挨拶をさせていただいた。来年につながるように取り組んでいく。
繊維工業	衣料縫製	コロナの影響がずっと続いている。業績は非常に厳しいものがある。
	テントシート	「一人はみんなのために、みんなは一つの目標のために」行動変容をして、なんとか今の状況を脱したいものである。
木材・木製品	木材	昨年の消費税増税以降低迷している住宅着工数も新型コロナウイルス感染症拡大により更に先行き不透明で減産傾向となっている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	コロナ感染の拡大は今後の経済に同様な影響を及ぼすか不明であるが、12月は食品関係を中心に段ボールの需要は平年並みになった。得意先により大きな受注格差がみられるも、需要は低いながらも少し持ち直している。
	古紙	12月期の仕入れ量は：段ボール・約96±8%位、新聞、チラシ・約90±7%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約92±10%位と思う。組合員全般的に段ボール古紙はそこそこ、新聞・雑誌古紙は激減の傾向と思われる。しかしながらコロナによる巣ごもり片付け等により、雑誌・雑がみ等の古紙が発生した地域もありそうである。製紙会社様の操業は板紙はフル操業の所もあるが、洋紙や新聞原紙は追加減産の所が多い様である。合わせて製紙会社様の製紙原料古紙購入量が20%以上減り、雪による操業変更等も更に追い打ちになっているように感じられる。年末年始の繁忙も火事、事故、コロナ対策等々もお陰様で小難で済んでおり、神様にもお願いし、皆で努力した結果でもあり感謝している。少子化・高齢化・スマホ利用等もIT・DX・AI化や行政文書のハンコ廃止等も止められないので、今後の企業の存続と地域の繁栄を創造し、更に喜んでいただける仕事の仕方を探しているのでは是非、御指導御鞭撻いただきたい。中国の廃棄物輸入規制は古紙にも適応され、原紙輸出の引き合いがあるが、海上コンテナの停滞があり輸出しにくい状況の様である。廃プラや家電等の不法投棄や古紙等の持ち去りも無くならず、休み明けに不法行為者への対応に忙しいのは悲しい事である。
印刷	印刷	コロナ禍による需要の落ち込みは、8か月以上続き、さらに年度末の繁忙期にも影響が出始めている。
窯業・土石製品	伊賀焼	令和2年度はコロナ感染の影響で各種イベント、催し物等の中止が多かった。一方、県内移動の通達で、学校の児童、生徒の団体による体験陶芸教室が大幅に増加した。収束の兆しが見えない中、今後も先が読めない状況である。
一般機器	四日市	コロナで明けた2021年は我々にとって、どんな年になるのだろうか。経済の低迷が心配である。そうした中で、当組合は各々に努力して難局を乗り越えてゆかなければならない。
	津市	自動車部品の受注は多く良くなっているが、中国以外の国はあまり動いていないと聞いている。そのため、1月以降はまた落ち込むのではないかと懸念がある。一般機械の方はあまり戻っていない状況で、当組合の中でも、年末年始休みを長く設定している所もあり、一番長い所で、12月26日～1月11日まで休みの企業もある。全体ではまだまだ戻ってきていない状況と思われる。
	伊勢	経済活動の再開は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ進められていて、景気は緩やかに持ち直している。政府が打っている手の政策効果はあると感じている。業績は底打ちし、改善に転じたと思うが、投資は見送る動きになっている。
電気機器	鳥羽	期末後半は例年少なからず受発注の動きが活発になるが、今期は20～30%ダウンで厳しい状況が続く。
輸送機器	鈴鹿	現時点ではまだ新型コロナ第3波の影響は出ておらず、急激な需要の回復で繁忙なため、正規・非正規ともども人員を増やして対応している。人材派遣会社を活用している企業では外国人派遣労働者を日本人人材に置き換える動きが多くみられるようで、今後の外国人派遣労働者の仕事先不足が懸念される。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	青果	野菜前半：暖かい日が続いて生育が進み、全体的に出荷量が増え、白菜、キャベツ、大根等は底値になりつつあり、また、えのき茸、ほうれん草、小松菜は安値が続いているが、後半は上がる可能性がある。野菜後半：年末年始も見据え、値上がり傾向だが、全体的に例年より大根、白菜、人参、キャベツ、レタス等は安いが、白ねぎ、お正月用もち草等は高くなっている。果物前半：みかんのわせ品種の入荷が落ち着き、価格も今が安値で作況も良く、全体的に美味しい。いちごは地場産が中心で大粒が多く、味も良くお買い得である。りんごは長野産サンフジが中心で味も良いが、ギフト向けの太玉の入荷が少ない。果物後半：いちごは冷え込みで色づきが遅く、入荷が少なく例年より高値である。みかんは県内産、和歌山産、愛媛産の人気露地の物は値上がりしている。りんごについては長野産サンフジは潤沢だが、青森産の王林、ジョナゴールドは少なく、値上がりぎみである。
	自転車	昨年終盤にかけてやや平静を取り戻したかに見えた当業界は再び混乱し始めて来た。少しは予想していたものの、このコロナ禍の下ヨーロッパでは自転車需要が非常に高まり、自転車部品の品薄状態が顕在化して来た。国際的に絶大なシェアを占めるシマノ工業の国内での自転車部品供給の混乱の可能性が高まって来た。当業界において逃がす事のできぬ春需に向けて多くが緊張状態にある。
	電器	12月も前月同様、前年に対してはアップが出来た。ただ、前年10月に消費税のアップ。その後買い控えがあり単純に販売としては比較はできない。また、前年数字はクリアしても経営的には厳しい状態が続いている。商品別は大画面有機ELテレビ及び液晶テレビ・暖房対応エアコン・コロナ関連空気清浄機が好調で販売を牽引している。長引くコロナ禍の中、組合加盟各店の活動ではコロナ感染拡大に対応する手指の消毒・ソーシャルディスタンスを保つ距離での説明・マスクの着用等をしながらの活動を心がけ継続して取り組んでいる。だが長引く新型コロナ禍の影響は大きく、4月からの累計では2桁に近い大幅ダウンで経営は厳しい。在庫面では季節の変わり目と併せ商品の切り替えがあり品薄・品切れがさらに顕著になって来た。また、コロナ関連の空気清浄機等は生産が受注に追いつかず継続して品薄が続いている。残念ながらこのような状況の経営者で高齢化の為、廃業店も出てきている。
	石油	政府は、地球温暖化対策の一環として、ガソリン車の新車販売を2030年代半ばに禁止する方向で最終調整に入ったと報じられている。50年までに二酸化炭素(CO2)など温室効果ガスの排出を実質0とするすなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言した。さて、我々の業界は景気の先行き動向などと言った話ではなく、SS経営の本質に関わる問題である。化石燃料エンジン販売禁止から大きく自動車産業界全体の構造を変えることになる。SS業界はこの大きな変化に対応すべく現状経営を先ず安定維持させ、将来を模索していくことが必要である。
	スポーツ	今年の冬は結構寒くて冬物の動きが良いようである。ウインドブレイカーの注文があるメーカーのある品番に集中し、納品するのに苦労した。普通の冬ではあまり考えられない事である。資金繰りはコロナ関係で手詰まる事がないようである。(かなりの組合員が日本政策金融公庫、銀行の融資を受けているため。)早くコロナ禍が終息して楽な気持ちでビジネスをしたいものである。
商店街	熊野市	Go toトラベルの停止により、クーポン加盟店も少なからず影響を受けているようである。ただ年末に再び市より支給された一人一万円分の地域商品券は利用率も高いようで、落ち込んだ消費を若干ではあるが活性化させた。年末に高齢化を理由に閉店された店舗があったが、今回のコロナをきっかけに閉店を後押しされた感もあり、今後は高齢の事業者店舗の閉店が増える可能性を感じた。
サービス業	旅館	エビデンスもないままにGo toトラベルが批判され、突然12月28日より1月11日までストップがかかったため、年末年始はどこも予約で連日満館であったのが、キャンセルの嵐で、残ったのは20~30%程度だった。12月全体では、対前年30~50%減位であったようである。Go toトラベルが延長され、明るい見通しが立っていたのに今回の処置は大変残念でならない。
	測量	仕事柄、コロナウイルス感染の可能性は少なく、作業に影響はない。官・民の委託業務は少なく下請けが70%を占めている。
	警備	コロナの影響で密にならないようにするために各スーパーのイベントである年末大売出しの受注が減少したが、12月中の受注としては昨年同様以上であったので、全体としての売上は昨年並みとなった。
建設業	内装工事業	12月も対前年比で少し増加となった。この流れが年度末の3月まで続くかは、コロナウイルス感染状況が拡大しているため、予測が難しい状況である。
運輸業	トラック	12月はずっと横ばいで推移していた軽油価格が上昇に転じた。12月になってコロナ禍(第3波)の影響が長引く中、巣ごもりによる宅配需要は依然好調を維持しているものの、ここきて回復基調にあった製造業を含め全体としての先行きが読めない事から足踏み状態となり、物流についても停滞ぎみに推移している。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	コロナ禍であまり会議等を開く事ができないかった。状況に応じて開催していく予定である。
一般機器	四日市	政府のコロナ対策が後手に回っている。支持率の低下より、思い切った対策を早急に打ち出してもらいたい。
サービス業	旅館	今回のGo toトラベルの突然の一時中止とコロナウイルス第3波が強く、収束の長期化が予想されるため、昨年と同様、運転資金が不足するため、県の信用保証協会の保証付きの融資制度を至急検討してもらいたい。